

4年ぶりの全国大会、10月に沖縄で開催へ

全産連青年部協議会が総会開催



今回は従来の集合型で開催



海野泰兵
青年部協議会
会長

全国産業資源循環連合会青年部協議会は15日、東京都港区のAP新橋で第24回通常総会を開き、22年度事業および収支決算報告、今年度事業計画および収支予算案の承認などを行った。昨年は新型コロナウイルスの影響を踏まえ、人数を制限した会場参加とオンライン参加を併用したハイブリッド形式としたが、今回は従来の集合型で開催となる。今年度は4年ぶりの全国大会を、10月に沖縄県で開催する計画だ。

総会開催にあたりあいさつした海野泰兵会長は、「会長として1年間『行動』をスローガンに掲げて取り組んできた。こういう業界団体でいろいろな仕事をされている方がいるので、しがらみなどもあるが、やはり分裂するのでなく団結して行動していかねばならない。団結することによって

会員増大を図り、青年部活動を活発にしていかなければ、親会や環境省の方々は耳を傾けてくれない。ここにいる皆さんがそういう想いを持たない限り、業界を変えていくのは難しい。未来を変えていくのは私たち、ここにいる皆さんだと思ってる。皆さんが業界の地位向上、繁栄そして未来を引き受ける責任を負って、覚悟を持って行動することで、全国が一丸となって行動できると思う。昨年度同青年部協議会では「行動」をスローガンに掲げ、「情報共有」「会員拡大」「変化を恐れることなく行動しよう」の3つのテーマを掲げて活動を行ってきた。昨年11月に開催したカンファレンス（全国部会長会議）では情報共有を図り、会員拡大をテーマに意見交換を行い、これからの青年部として業界の未来のために何を行動すべきかを議論した。このカンファレンスをきっかけとし、今年度は次世代を担う青年部会員の拡大・人材育成を行う方針だ。情報共有サイトの活用、連絡システム「れん楽網」の使用を積極的に働きかけ多くの情報・知恵を共有し、全国会員が同じ方向を向いて行動できるように取り組んでいく。そして、今年度は新型コロナウイルスの影響で4年ぶりとなる青年部全

総会の前にはSDGs取り組みの表彰も行われた



国大会を10月27日、沖縄県で開催する。今回は「考動」今こそ「一つ」をスローガンに掲げ、改めて青年部協議会の意義や方向性を共有し、自ら考え行動することで今後の活動を一丸となって取り組むための大会にする考えだ。また、今年度のカンファレンスは来年2月8日に鳥取県で開催する予定としている。今回は総会開催に先立ち、同青年部協議会教育研修員が中心となって実施した「47都道府県青年部によるSDGs取り組みのさらなる拡充」の表彰式および事業紹介も行われた。会長賞（Best of SDGs）には岐阜県産業環境保全協会青年部会の「ビジネスチャンスシリーズ第2弾！真正面からビジネス泥棒ツアー」、委員会賞（Impact of SDGs）には山口県産業廃棄物協会青年部会の「令和4年度山口大学合同研修会」が、それぞれ選ばれた。同青年部協議会では、今後このSDGs活動を継続して行く考え